

2 第2学年の評定及び選抜のための評定

段階	教 科		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	音 楽	美 術	保 体	健 育	技 術・ 家 庭
	人数	割合										
合計	5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	4	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

3 第3学年の評定及び選抜のための評定

段階	教 科		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	音 楽	美 術	保 体	健 育	技 術・ 家 庭
	人数	割合										
合計	5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	4	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

4 この学年の特殊学級数等

学 級 数	在 籍	人	員	左のうち公立高等学校を志願する者の数
学 級	男	人	女	人
	計	人		人

この成績一覧表の記載には誤りのないことを証明します。

平成 年 月 日

証明者 職 名 氏 名

職印

- (注) 1 第1学年の概評においては、最終ページを除き、各ページ50人ずつ記入し、各ページごとに人数の小計を入れる。
なお、1ページが50人に満たない場合は、必要な人数の欄のみ設ければよい。
- 2 「2 第2学年の評定及び選抜のための評定」及び「3 第3学年の評定及び選抜のための評定」表の()内には、選抜のための評定の各段階における人数及び割合を記入する。
- 3 割合は、評定した人数により小数以下第2位まで計算し、その第2位を四捨五入する。
- 4 この学年の特殊学級について、学級数、在籍人員及び特殊学級からの出願者数を末尾の欄に記入する。
なお、「左のうち公立高等学校に志願する者の数」には、特殊教育諸学校の高等部への志願者は含まない。
- 5 特殊学級から出願者がある場合の評定は、通常の学級の在籍者に特殊学級からの出願者を含めて行う。
- 6 特殊学級がない場合は、該当欄に斜線を記入する。
- 7 全日制課程、定時制課程のある高等学校に対しては、志願者がある場合にはそれぞれに送付する。
- 8 用紙は、B4判縦置きとする。

様式10

受 付 番 号						学 区	内 外
入 学 願 (二次募集)							
貴校に入学したいので御許可くださいますようお願いいたします。 なお、私は二次募集の出願資格を満たしています。							
志 願 学 科 ・ コ ー ス							
平成 年 月 日							
熊本県立		高等学校長				様	
志 願 者	ふりがな			性 別			保 護 者 印
	氏 名			氏 名			
	生年月日	昭和 平成	年 月 日				
	生活の本拠	府 県	市 郡	生活の本拠	府 県	市 郡	
		町 村	番地 番 号	生活の本拠	町 村	番地 番 号	
学 歴 及 び 職 歴							
昭和 平成	年 月 日					小学校第6学年卒業	
昭和 平成	年 月 日					中学校第1学年入学	
昭和 平成	年 月 日						
昭和 平成	年 月 日						
昭和 平成	年 月 日						
本検査受検高校		高等学校			本検査受検番号		
本検査で受検した第一志望の 課程及び学科・コース		全日制 定時制	課程		科 コース		
この記載事項に相違ないことを証明します。							
県		立		学校		校長氏名	
[職 印]							

留意事項

- 1 学区内・学区外、昭和・平成、全日制・定時制及び科・コースは、該当するものを○で囲むこと。
- 2 志願者氏名は、必ず本人が書くこと。
- 3 入学志願者が成人のときは、保護者欄の記載を要しないが、志願者氏名欄に押印すること。
- 4 「本検査」とは、平成16年度熊本県立高等学校入学者選抜学力検査のことである。
- 5 面接の有無については、二次募集受付票で確認すること。

様式11

二次募集受付票

受付番号	
ふりがな 氏 名	
生年月日	昭和 年 月 日 平成
出身中学校	
面接の有無	有 [日時] [場所] 無

平成 年 月 日

熊本県立

高等学校長

氏 名

職印

※ 面接が実施される場合は、本票を持参すること。

様式12

学力検査成績証明書等送付願

平成 年 月 日

高等学校長 様

出身中学校名

校長氏名

職印

下記の者が、二次募集に出願しますので、本人の学力検査成績証明書、調査書の写し及び写真票を、出願先の高等学校長あて送付くださるようお願いいたします。

記

本 検 査 受 検 番 号	
本 検 査 受 検 者 氏 名	
二 次 募 集 出 願 高 等 学 校	

様式13

選 考 結 果 通 知 書

平成 年 月 日

受付番号
氏 名

様

高等学校長

氏 名

職印

あなたは平成 年度熊本県立高等学校入学者選抜二次募集において、
本校（ ）科に（ ）となりましたのでお知らせします。

様式15

県外公立高等学校入学志願についての証明書

〔県外中学校出身生徒用〕

本 人	氏 名			
	生 年 月 日	昭和 平成	年	月 日
	出身中学校	立	中学校	昭和 平成
	現 住 所			
保 護 者	氏 名	印		
	現 住 所			
	本人との 関 係	本人の		
出願先高等学校名		県・市立	高等学校	全日制・定時制
志願の理由（具体的に）				
<p>上記のとおり相違なく、また、本人は本県（道・都・府）内の公立高等学校に出願しないことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;"> 都道府県 市町村立 中学校長 氏名 職印 </p>				

記入上の注意 1 昭和・平成、卒業・卒業見込み、県・市立、全日制・定時制、都道府県、市町村は、該当のものを○で囲むこと。

**平成16年度
熊本県立高等学校推薦入学者選抜実施要項**

1 推薦入学を実施できる学科・コース及び募集人員

高等学校長は、次表の「実施できる学科・コース」の入学志願者に対して、推薦入学を実施することができる。募集人員は、右の欄の枠内で、当該高等学校長が定める。

実施できる学科・コース		募 集 人 員 の 枠
学 科	農業に関する学科	当該学科の募集定員の60%以内
	水産に関する学科	当該学科の募集定員の60%以内
	工業に関する学科	当該学科の募集定員の30%以内
	商業に関する学科	当該学科の募集定員の30%以内
	家庭に関する学科	当該学科の募集定員の30%以内
	美術に関する学科	当該学科の募集定員の30%以内
	英語に関する学科	当該学科の募集定員の20%以内
	理数に関する学科	当該学科の募集定員の20%以内
	福祉に関する学科	当該学科の募集定員の30%以内
普 通 科 を 定 め て 募 集 す る 年 か ら ス	理数コース、英語コース、 国際コース、情報コース、 人文コース、文科コース、 スポーツコミュニケーションコ ース、ヒューマンコミュニケー ションコース、 福祉教養コース、 総合コース	当該コースの募集定員の20%以内
	美術コース、美術工芸コース、 芸術コース	当該コースの募集定員の30%以内
	体育コース	当該コースの募集定員の50%以内
単位制普通科		募集定員の20%以内
単位制総合学科		募集定員の30%以内

2 出願資格

推薦入学を志願できる者は、次の要件を満たし、中学校長の推薦を得た者とする。

- (1) 平成16年3月に本県中学校を卒業する見込みの者で、合格した場合必ず入学すること。
- (2) 当該学校、学科・コースに対する適性、興味・関心を有し、志願する動機や理由が明確であること。
- (3) 学業、文化・体育・生徒会活動等のいずれかの分野において良好であること。

3 推薦入学者の選考

- (1) 推薦入学者の選考は、中学校長から提出された書類及び面接の結果を資料として、各高等学校の学科・コースの特色に応じた能力・適性等を判定して行い、学力検査は実施しない。

なお、美術に関する学科並びに普通科の美術コース、美術工芸コース、芸術コース及び体育コースへの出願者については、実技検査の結果も選考の資料とする。

また、作文を実施する学科・コースへの出願者については、作文の審査結果も選考の資料とする。

- (2) 選考基準は、当該高等学校長が定める。

4 推薦委員会等の設置

推薦に当たっては、校長、教頭及び教員をもって構成する推薦委員会を組織するなどして、厳正・公平な推薦を行うものとする。

5 出願期間

平成16年1月22日(木)から1月26日(月)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、土曜日及び日曜日には受付をしない。郵送による出願の場合も、出願期間内に必着のこと。

6 出願手続

(1) 出願に必要な書類等(下記の書類を出願時に一括して提出)

ア 入学願(「選抜要項」様式1に準拠して各高等学校長が定めた入学願の左上肩に「推薦」と朱書する。)

イ 受検票(「選抜要項」様式2を用い、左上肩に「推薦」と朱書する。)

ウ 写真票(「選抜要項」様式3を用い、左上肩に「推薦」と朱書する。)

エ 調査書(「選抜要項」様式4)

オ 推薦書(様式A)

カ 成績一覧表(「選抜要項」様式9を用い、当該教育事務所長等へ提出して審査を受けるものと同一のもの)

キ 農業自営者養成学科入学志願者調書(「選抜要項」5の(1)アに準じる。)

ク 入学者選抜手数料(2,200円)

(2) 出願の制限

出願は、1人につき1校1学科・コース限りとする。

7 面接

面接は、出願者全員に対して、平成16年2月3日(火)に、出願した高等学校で「選抜要項」9の(2)に準じて行う。

なお、英語に関する学科並びに普通科の英語コース及び国際コースへの出願者については、面接の中に初歩的な英語による面接を一部含めることができる。

8 作文

出願者の興味・関心・適性等をみるための作文(400字・30分)は、実技検査を実施しない学科・コースへの出願者に対して、平成16年2月3日(火)に、出願した高等学校で行うことができる。

なお、作文の実施に当たっては、あらかじめ校内に作文委員会を設け、作文のテーマや実施方法等について十分検討するものとする。

9 実技検査

実技検査は、美術に関する学科並びに普通科の美術コース、美術工芸コース、芸術コース及び体育コースへの出願者に対して、平成16年2月3日(火)に、出願した高等学校で「選抜要項」9の(3)に準じて行う。

10 選考結果の通知

選考結果は、平成16年2月10日(火)に、当該高等学校長から出願者の出身中学校長へ通知(様式B)するとともに、合格内定者に対しては中学校長をとおして本人へ通知(様式C)する。ただし、選考結果の通知書は、出願者の出身中学校長又は代理人へ手交することができる。

11 合格者の発表

平成16年3月16日(火)に、一般入学の合格者と同時に、出願した各高等学校において、受検番号で発表する。

12 不合格者の取扱い

選考の結果不合格になった者は、改めて一般入学者選抜に出願することができる。

なお、同一の高等学校へ再び出願する場合は、出願に必要な書類のうち調査書を省略するものとする。

13 その他

複数の学科を一括して募集する「くくり募集」を南稜高等学校の生産科学科と園芸科学科において実施する。